

意ではありませぬ。

されど病軀の勞働いと骨につらく、よしや學業にもせよこの上休養のタイムを削ること、壽命を削るの愚に近いのでありますから、長松と寺小屋の過渡時代は、ほど近き湖畔にでもそゝるゐるさして、一陣の涼風に萬事を閑却しやうと思ふてゐます川柳に曰く先生と云はるゝほどの馬鹿でなしと、鈍子變じて先生となる、彌々阿蒙のミイラが出来あがることでございませう。自ら祝して曰く御目出たいかなと、

(丁)

▲古昔歐羅巴では結婚した時から三十日間は蜂蜜で製した一種の飲料を用ゐねばならぬ事にして居た。そこで此卅日間即ち一ヶ月をハネムーン(蜜の月)と云ふことになつたとの事で遂には今日歐米に行はるゝ結婚旅行と變つたのだ。

▲先頃米國は紐育の一新聞紙は下の如き事を計算した。曰く同市にては平均六分毎に出産、七分毎に葬式、十時毎に入殺し、一時間毎に新建築、四十五分毎に出火、ある勘定なりと、

雜 錄

●少女の富士登山 大阪なる吉弘某の女政子(九才)が富士登山の報新聞紙に傳へらるゝや彼處にも此處にも之を真似るもの續出し中には十一二才の少女をして單身箱根地方を旅行せしむるものさへあるに至れり、左に記するも其一なり。

本郷區の六十一出版業杉本勝二郎氏の長女君子(十一)と云ふは目下、殿坂私立習性小學校高等二年生の少女の身ながら暑中休暇を利用して單身箱根、大磯地方を旅行して紀行文を作らんと志ざし兩親の途中を築じ危むを強ひて許しを請ひ金十圓を懐中にして新橋驛を出發したるは去る九日午前八時二十分の事なりし、兩親は出發の間際にのぞみて宿に泊る時は知らぬ人などには相談せず必ず其土地の駐在所に行きて巡查に宿の周旋を頼むがよしと呉れん、も教へたるに君子は能く其意を領したりと見え一昨日兩親の許へ届きたる二通の葉書には左の如き文言を認めありたり

十時二十分すぎに、藤澤につきました、それから十時三十五分
に江の島へ無事に着きましたから、御安心下さい

八月九日

片瀬にて

杉本きみ

杉本勝二郎様

昨日あれから、すぐ藤澤へかへりました、それから、じゆんさ
に、やどをとつてもらなうと思ひまして、中さい所(駐在所か)
へ行つたのみましたら、東京のまん申の、い、おばあさんが來
て、私の内へいらつしやいといつて、じゆんさとかけやつて、
おばあさんが、つれてつてくれました、そして、そこでとまり
ましたから、御安心下さい

八月十日

藤澤にて

杉本きみ

杉本勝二郎様及母上

先には菓子爵が其三女をして打ち連れて旅行せし
めたるに思ひ合はせて、世の人の漸く旅行に重き
を置くに至れるを知るに足れど、吾人は其餘りに
奇蹟に走せて教育上有害無益の結果を收むるに至
らざらんことを望んで止まず、彼吉弘某女が單
身の登山も名こそ單身なれ、實は知己より知己へ
と其保護を頼めるものなる可く純粹に單獨なる旅
行は得爲しがたきものと信ず。此邊の辨へもなく
妄りに少年少女を手放すことは餘りに賞めたもの

にもあらざる可し。

●富士山の暴風雨 女流の登山者近年著しく増
加したるが上に今年は例年になき好景氣にて登山
者頗る多數の由なるが、是に就けても注意す可き

は山上の天氣なりとす。凡べて高山の氣象は之を
平地に比するときは頗る變化多きものなれば登山
者は必ず万一の用意を怠る可からざるものとす、

本年も去る七月廿五日の夜より山上は非常の暴風
雨にて同日登山のため五合目に宿泊せし静岡縣吉
原町、愛媛縣松山市及び東京等の連中七十餘名石

室に閉籠りたるまゝ進退に窮し二日間の滞在に食
料盡きて餓鬼道の苦しみ、加之に寒氣を防ぐべき

燃料もなく菓子箱まで叩き壊して燃す騒ぎにて二
十七日漸く風雨の小止みを伺ひ登山したるも天候

尙險惡にして一同の恐怖と疲勞甚しく辛うじて
下山したる程なりしと云ふ。

●女教師の招聘 過般伊澤修二氏の許に北京在住
の友人より清國官立學校講師として日本女教師を

備聘したき旨申越したるにより同氏は早速女子清
韓語學講習所本年第一期卒業生中の才媛二名の履

履歴書を送付したる由にして近々に右二氏の内一名採用の通知あるべき筈なりと云ふ。
●文部省家事科試験問題 過般該省内に於て施行されたる家事科豫備試験の問題なりと云ふを聞くに左の如し

一、夏期数日間海濱の別荘に居住せんとす左の諸項に就き各自の考案を述べし

イ、單備 ロ、子女教育上の注意 ハ、主婦の日課 ニ、實際の心得 ホ、臨時客に對する饗應の獻立

二、左の場合に於て親戚の家に贈物なすには如何なる品種を選ぶべきか又其返禮は如何にすべきか且つ總べてに就きて裝飾の方法を併せ記すべし

但し上下の等差並に季節は隨意たるべし
イ、金婚式祝 ロ、男子誕生祝 ハ、饌別(歐洲漫遊の人を送る) ニ、洪水見舞 ホ、甲冑

三、中等家庭に於ける支出の項目を列舉し各條に就きて經濟上注意すべき要點を述べし(右四時間)

●小學兒童間の流行病 愛媛縣越智郡龜岡村の尋常小學校生徒中兩三名一昨年頃より頭髮に白髮の雜るものあり最初は只だ若白髮とのみ思ひ居たるに其の數次第に増加して昨今は百餘名も白髮となり加之隣村小西尋常高等小學校中にも同様の生徒

を見るに至りたれど醫師も其の何病と云ふ名稱は附し得ず其の地方人は只だ白髮病と稱し居る由此病氣は頭髮白くなるのみならず顔面の皮膚にもなますの如く點々白色を呈するものあり尤とも數ヶ月にして其白髮は抜け元の黒髮を生じ身体にも異狀を感ずる事なしと云ふ

●學女教師の收入 女子の職業漸次隆盛となり立派な官員さん迄出で来る今日、工場と云は商店と云はず、彼處にも此處にも女子の雇員歡迎せられ、従つて何處の家にも下女はした女の給金の騰貴には驚き居ることなる可し。斯く女子の職業盛なる中に何か一番女子に適當にして且上品に然も收入多きかと云はゞ女教員と云ふの外あるまじ。夫れも高等なる學校に至りては自ら夫れ相當の資格、學力を要す可れども、尋常小學校若しくば幼稚園等にありては然したる學力も要らずして相當なる收入を得ること誠に容易なりとす。今東京市内に於ける女教員の收入を聞くに

麹町區 一人平均收入 約 二十圓
神田區 全 十七圓五十錢

日本橋區	全	十八圓五十錢
京橋區	全	十八圓五十錢
芝區	全	十七圓五十錢
麻布區	全	十七圓
赤坂區	全	十六圓五十錢
四谷區	全	十六圓五十錢
牛込區	全	十六圓五十錢
小石川區	全	十五圓
本郷區	全	十七圓
下谷區	全	十七圓
淺草區	全	十八圓
本所區	全	十五圓五十錢
深川區	全	十七圓

以上を悉く平均しても一人前十七圓三十錢余となる。勘定なりと云へば之を日當何十錢の女工や月八圓の遞信省雇に比すれば仕事は高尚にして樂み多く且労働の時間も少くして遙に有利のものとなる。ふことを得可し。此他看護婦、産婆、等あれども是等は人に依りて好き嫌ひあり且何れも純然たる専門的職業にして特別なる修養を要するも下級女教師は一般女子に必要なる育兒誘導法を修め常識の根基たる普通學を修得するの外何等特別の修養

を要するとなければ女子の働く可き處としては最も適當なる處なりとす

●新式圖書教材 女子美術學校にては先頃より國旗、帽子、インキ壺、罎、椅子、土藏、鞆、書籍等を紙又は木にて雛形を作り之に實物同様の色彩に施して生徒に圖書を教授しつゝあるが同校幹事磯野吉雄氏は圖書教育の現狀に於て一般小學生徒が實物寫生の力に缺くる所あるより多年苦心の結果遂に此種の新教材を發明したるものにて右に就き同氏は語りて曰く予は小學校に於ける圖書の成績を見る毎に不満の點尠ならずしが滿七ヶ年小學時代に於て施されし圖書教育の結果は僅に一方形の物体だに寫し得ざるほどにて其原因に就ては第一教員にして圖書技能の熟練と趣味とを缺ける事第二其の教授法の宜しさを得ざる事第三適當の教材を缺ける事等なり予は専ら圖書教授の職に在る以上之れが教育の振興を期するは當然にして其方法に就きて大ひに苦心し多年の経験と正木東京美術學校長の指導に依りて遂に前記の如き教材を考へ出すに至りたるが即ち木、紙、金屬等を

以て種々の形体模型を製作し其の週圍線又は分界線等を最濃良を以て着色し之を用ひて兒童をして極めて簡易に立体形を平面畫面に描寫せしめ之が使用する順序は通常の寫生法に依りて最初直線曲線より方圓形等漸次に複雑なる形狀に進み物体の遠近陰影等一見の下に之を會得せしめ且つ種々の色彩を以て着色せる爲め自然兒童の感興を添ふるの便利を有しつゝあり云々

新刊紹介

▲女子東京入學案内 大田龍東 著

入學案内の刊行せられたるもの頗る多くして然も何れも不忠實ならざるはなきに此書は著者の教育的眼光に照して各校の特長生徒の模様につきて一々批評を試みたるは從來のに比して一異彩を放てり。第一章には普通教育を施す所の高等女學校若しくは同程度の學校につきて第二章には實業教育を施す學校につきて各學校の沿革規則及現況等を述べたり。而して終には入學試験の注意數頁と入

▲日本家庭辭書 西山慈次編
學試驗問題數十頁を附加せり。定價四十錢神田區神保町福岡書店發行

辭書の流行は今や其極點に達せりとも評す可し。此時に當りて本辭書の出づるは怪むに足らねど後ればせに出でたる本書は其内容果して如何にやと手に取れば是は又意外に能く整ひたり。語の排列は五十音順により別に第一第二の索引を付け家庭の組織制度より育兒、衛生、教育を始め娛樂園藝の細道にも及び總べて家庭に關する一切の事項を網羅せり。而して其説明を見るに略其要を得て繁簡宜しさを得たるが如し。之を從來の紛々たる家庭辭書に比ぶれば大に逕庭あり、井上圓了博士が「照盡家庭小天」に評せるは適切なりと云ふ可し四六判にして頁數七〇〇語數約一千二百用紙もよき裝飾は温雅にして清秀家庭の備本として實用と裝飾とを兼備せしむるに恰好なるものなり。發行所は京橋區南大工町弘道館、定價壹圓參拾錢尤も發行書肆は特に三方部限り大割引を行ひ特價金九拾錢を以て發賣し居る由。